

2025 年度本部委員会功労賞候補者推薦について

日本分析化学会は、多年にわたって本会本部委員会および小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献された方を表彰して「本部委員会功労賞」を贈呈します。

下記の本部委員会功労賞規程により 2025 年度本部委員会功労賞候補者を募集します。関係各位におかれましては、適任者がおられましたらご推薦くださいますようお願い申し上げます。

『本部委員会功労賞規程』

- 第 1 条 本会に本部委員会功労賞を設け、多年にわたり公益社団法人日本分析化学会本部委員会および小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献した者に、これを贈呈する。対象となる委員会は別紙に定める。
- 第 2 条 本部委員会功労賞は、賞状を年会または討論会において贈呈する。
- 第 3 条 本部委員会功労賞候補者の推薦者は、本部委員会委員長および現在休止・廃止している委員会については元委員長とし、その委員会に所属する者または過去に所属した者を推薦することができる。複数の委員会の活動を合わせて申請することができる。
- 第 4 条 前条によって推薦される者は、本会正会員にして、申請する年の 2 月末日をもって、合計 10 年以上第 1 条の活動に従事した者とする。
- 第 5 条 候補者の推薦に際しては、次の (1)～(2) に規定する書類を電子媒体にて、指定された日までに本会に提出するものとする。
- (1) 推薦書 (2) 被推薦者理由書 (いずれも本会所定の用紙)
- 第 6 条 各委員会からの申請は各年で 3 件以下とする。授賞数は 10 件以下とする。
- 第 7 条 本部委員会功労賞候補者の選考は、本部委員会功労賞審査委員会において行う。審査委員は、理事会が本会副会長及び庶務担当理事より 5 名を選考し、会長がこれを委嘱する。委員長は、筆頭副会長または表彰業務担当副会長とする。

(別紙) 本部委員会功労賞の対象となる委員会

標準物質委員会、技能試験委員会、分析化学技術者教育企画委員会、分析士認証委員会、ぶんせき編集委員会、分析化学編集委員会、Analytical Sciences 編集委員会、X-ray Structure Analysis Online 編集委員会、広報委員会、会員・広報協議会、学術振興協議会、学術会合協議会及びそれらに属する小委員会

(以下省略)

☆

☆

- 1) 2025 年度本部委員会功労賞授賞式は、2025 年 9 月 25 日 (木) 第 74 年会 (北海道大学) において行う予定です。
- 2) 推薦書類 (推薦書、被推薦者理由書：本会所定の用紙) は、下記期限までに提出してください。
- 3) 推薦期限：2024 年 12 月 31 日
- 4) 推薦書類提出先：日本分析化学会本部委員会功労賞係 (E-mail：shomu@jsac.or.jp)
- 5) 所定の書類は、<https://www.jsac.jp/applications/> からダウンロードしてください。

第85回分析化学討論会

—開催要項—

第85回分析化学討論会は下記のとおり開催の予定です。前回に引き続き、講演分類を分析対象により分類し、これまでの討論会とは異なる横断的な討論を期待しています。また本討論会では、実行委員会において、以下の討論主題を設定しております。

なお、講演申込、参加登録の案内については本誌12月号「お知らせ」欄に掲載いたしますが、すべてweb上からの申込、要旨提出となります。

皆様のご参加をお待ちしています。

第85回分析化学討論会実行委員長
朝日 剛

記

開催期日 2025年5月31日(土)・6月1日(日)

討論会会場 愛媛大学城北キャンパス〔愛媛県松山市文京町3〕

懇親会 ANAクラウンプラザホテル松山(予定)

討論主題(予定)

- 「化学物質の環境リスクと分析化学」
オーガナイザー：
国末達也(愛媛大)、森 勝伸(高知大)
- 「生物機能を調査する分析化学」×「生物機能を利用する分析化学」
オーガナイザー：
小川敦司(愛媛大)、紙谷浩之(広島大)
- 「科学捜査で役立つ分析化学」
オーガナイザー：
西脇芳典(高知大)、瀬戸康雄(理化学研究所)
- 「医薬品を定量し、疾患を可視化する分析化学」
オーガナイザー：
上田真史(岡山大)、和田光弘(山口東京理科大)
- 「生体試料を対象とする分離分析でのデータサイエンスの活用」
オーガナイザー：
高柳俊夫(徳島大)、轟木堅一郎(静岡県立大)

第22回生涯分析談話会へのお誘い

主催 生涯分析談話会

協賛 LC研究懇談会

生涯分析談話会は、日本分析化学会(JSAC)会員で定年退職された方々と現役のシニアの方々が中心となり、定年後の再出発や趣味の道に活力をもって生き生きと過ごし、JSACの発展に資するために組織されました。第1回を日本分析化学会第59年会の初日(2010年、東北大学)に開催して以来、毎年、年会の初日に開催してまいりました。また、第9回を第78回分析化学討論会(山口大学常盤キャンパス)の前日(2018年)に開催して以来、年に2回(分析化学討論会前日と分析化学会年會初日)開催地区の重鎮の先生方に講演をお願いし、情報交換会を開催して参加者の親睦を図っております。

さて、標記の第22回生涯分析談話会は今年の日分析化学第73年会(名古屋工業大学)初日に開催いたしますので、奮ってご参加くださるよう、よろしくお願いたします。

なお、未定の部分は決まり次第、LC研究懇談会のホームページでお知らせいたします。

会長：中村 洋

日時 2024年9月11日(水) 16.30~17.30(予定)

会場 名古屋工業大学〔名古屋市昭和区御器所町、交通：地下鉄「鶴舞」駅から徒歩10分、JR「鶴舞」駅名大病院口から徒歩7分〕

講演 研究指導における「問い」の設定力

(北見工業大学教授) 齋藤 徹

情報交換会 9月11日(水) 18時より、会場未定

申込先 幹事 伊藤一明〔E-mail: itok1481@gmail.com〕

第398回液体クロマトグラフィー研究懇談会

日時 2024年9月13日(予定)

講演番号 未定

座長 中村 洋(東京理科大学)

講演 機能性食品の開発におけるLC定量分析

(ハウス食品グループ本社(株)) 神山和夫

【注意】

- 本講演は、日本分析化学会第73年会(9月11日~13日、名古屋工業大学)の研究懇談会講演として実施されます。聴講には年会への参加登録が必要です。LC研究懇談会への参加申込は不要ですので、会場に直接お越しください。
- 名古屋工業大学〔名古屋市昭和区御器所町、交通：地下鉄「鶴舞」駅から徒歩10分、JR「鶴舞」駅名大病院口から徒歩7分〕
- 講演日時と講演番号は決まり次第、LC研究懇談会ホームページでお知らせします。

ナノ材料の総合分析講習

主催 (一社)近畿化学協会触媒・表面部会

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか

期日 2024年11月7日(木)・8日(金)

会場 大阪工業大学大宮校区

プログラム

第1日(7日9.30~18.15)

- 開会挨拶 (大工大) 東本慎也
- 表面分析概論 (大工大) 東本慎也
 - 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF)
(関大環境都市工) 福康二郎
 - 光電子分光法(XPS, UPS) (京大院工) 富田 修
 - X線回折(XRD) (京大院工) 中田明伸
 - 電子スピン共鳴(ESR) (阪公大院工) 松岡雅也
 - 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)
(近大理工) 田中淳皓
 - 昇温法(TG・DTA・TPD, TPR)
(阪大院工) 森 浩亮

交流会

第2日(8日9.30~17.40)

- X線吸収微細構造(XAFS) (近大理工) 朝倉博行
- 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL)
(京大院工) 浪花晋平
- 核磁気共鳴(NMR) (阪大院基礎工) 山口 渉
- 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman)
(阪公大院工) 竹内雅人
- 質量分析・クロマトグラフ(MS・GC・LC)
(京大院工) 井口翔之
- 吸着法 (近大理工) 室山広樹
- 電気化学測定 (京大) 東 正信
- 総論・ケーススタディー (京大院人環) 吉田寿雄

閉会挨拶 (大工大工) 東本慎也
参加費・申込方法

詳細は <https://kinka.or.jp/catalytic/> をご参照ください。
申込締切 10月16日(水)
申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会〔電話：06-6441-5531, FAX：06-6443-6685, E-mail：catal@kinka.or.jp〕

第401回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会
後援 (公社)日本薬学会(申請中), (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会, LCシニアクラブ

HPLC, LC/MSは、環境・食品、医薬品などさまざまな分野の分析で広く使用されています。しかし、正確な結果を得るためには基礎的な知識が不可欠です。本例会では、HPLC, LC/MSで用いるカラム、装置、試薬・溶媒、超純水などの基礎知識についてご講演いただきます。

期日 2024年11月15日(金) 13.00~17.00

会場 (株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京〔東京都中央区新富2-15-5 RBM築地ビル, 交通：東京メトロ有楽町線「新富町」駅より徒歩1分(5番出口利用), 東京メトロ日比谷線「築地」駅より徒歩4分(4番出口利用), JR京葉線, 東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅より徒歩8分(A3出口利用)〕

講演主題 HPLC, LC/MSの基礎知識

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)
(メルク株)石井直恵
(LC分析士二段)

1. LC/MSの基礎知識(13.05~13.40)
(エムエス・ソリューションズ株)高橋 豊
(LC分析士二段, LC/MS分析士五段)

2. HPLC, LC/MSに用いる試薬・溶媒の基礎知識
(13.40~14.10)
(関東化学株)坂本和則
(LC分析士初段)

3. HPLC, LC/MSに用いる超純水の基礎知識
(14.10~14.45)
(メルク株)石井直恵
(LC分析士二段)

休憩(14.45~15.05)

4. HPLCカラムの基礎知識(15.05~15.40)
(一財)化学物質評価研究機構)坂牧 寛
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

5. シリカ系逆相充填剤におけるシラノール基の効果：
完全エンドキャッピングそれとも有効活用？
(15.40~16.25)
(株)クロマニックテクノロジー)長江徳和
(LC分析士二段)

6. 総括「HPLC, LC/MSの基礎知識」(16.25~17.00)
(東京理科大学)中村 洋
(LCマイスター, LC/MSマイスター)

情報交換会(17.10~19.10)申込者のみ

参加費 ①学生：1,000円, ②LC懇・個人会員：2,000円, ③LC懇・団体会員：3,000円, ④後援学会・個人会員：4,000円, ⑤後援学会・団体会員：4,500円, ⑥その他：5,000円, 参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します

(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 11月7日(木)(入金締切時刻：15時まで)

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込が完了した場合には、登録されたアドレス宛に「第401回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
- 申込受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込は無効となりますので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2024年11月8日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意 例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

- 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/yYtNpjAHqAxChDhn9>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341, 口座名義：シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 メルク株)石井直恵
〔E-mail：naoe.ishii@mercgroup.com〕

LC- & LC/MS-DAYs 2024

～個性と専門性を磨く

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会, 分析士会, LCシニアクラブ

高速液体クロマトグラフィー(HPLC)および高速液体クロマトグラフィー質量分析(LC/MS)は汎用分離分析法として分野を問わず活用され、新しいユーザーが絶え間なく誕生しています。HPLCおよびLC/MSの初心者・中級者にとっては一日も早く関連技術を習得することが求められていますが、現場ではさまざまなトラブルに遭遇し、その解決に苦勞することも稀ではありません。一方、分析値信頼性確保への社会的な高まりに因應するため、(公社)日本分析化学会は分析士資格認証制度を2010年度から創設して液体クロマトグラフィー(LC)分析士試験を実施し、2011年度からLC/MS分析士試験、2012年

度からイオンクロマトグラフィー (IC) 分析士試験をそれぞれ継続して実施しています。2023年までに分析士として登録された方は、3,000名を超えています。

そこで、LC研究懇談会ではHPLC、LC/MS並びに関連技術に関する専門家の養成を目指し、参加者の基礎知識習得とヒューマンネットワークの構築に資するため、「個性と専門性を磨く」を2024年のメインテーマに掲げました。この研修会では、技術者・研究者・メーカー・ユーザーが一体となり、基礎から最前線までを泊り込みで勉強します。また、ミッドナイトセッションでは分離科学的な専門知識に加え、人と人との絆を改めて考えるきっかけとして、ヒューマンネットワークの構築についても学ぶ機会を設けますので、奮ってご参加ください。なお、本研修会終了後の、①2024年度LC分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験、②2024年度LC/MS分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験(①②は同時刻実施、無料)に合格されますと、当該分析士初段認証試験の筆記試験が免除される特典があります(初段登録時には正規の受験料と登録料が必要です)。

会期 2024年11月28日(木)・29日(金)

会場 東レ総合研修センター〔静岡県三島市末広町21-9、電話：055-980-0333、FAX：055-980-0350、交通：JR「三島」駅北口下車、徒歩15分〕

<https://www.toray.co.jp>

プログラム

11.30～12.30 希望者は東レの企業文化フロア見学可

12.30～13.00 受付

総合司会：井上剛史(北浜製作所)

1日目(11月28日)

13.00～13.05 実行委員長・開会挨拶

(東京理科大学) 中村 洋

13.05～13.15 現地世話人挨拶・施設説明

(東レリサーチセンター) 竹澤正明

基調講演

13.15～13.45 (座長：竹澤正明)

S0-1 個性と専門性を磨く

(東京理科大学) 中村 洋

第1部 ヒューマンネットワーク構築の神髄

(主任：熊谷浩樹)

13.45～14.00 (座長：中村 洋)

S1-2 社会での友達作り

(北浜製作所) 井上剛史

14.00～14.15 (座長：井上剛史)

S1-3 内資系企業での友達作り

(太田胃散) 濱崎保則

14.15～14.30 (座長：濱崎保則)

S1-4 外資系企業でのヒューマンネットワーク

(LCシニアクラブ) 熊谷浩樹

第2部 前処理の神髄(主任：岡橋美貴子)

14.30～14.45 (座長：熊谷浩樹)

S2-5 水

(メルク) 石井直恵

14.45～15.00 (座長：石井直恵)

S2-6 試薬・溶媒

(関東化学) 坂本和則

15.00～15.15 コーヒーブレイク

15.15～15.30 (座長：坂本和則)

S2-7 固相抽出

(日本ウォーターズ) 島崎裕紀

15.30～15.45 (座長：島崎裕紀)

S2-8 カラムスイッチング

(ハウス食品グループ本社) 神山和夫

15.45～16.00 (座長：神山和夫)

S2-9 2D-LC

(LCシニアクラブ) 熊谷浩樹

16.00～16.15 (座長：熊谷浩樹)

S2-10 超臨界流体抽出

(島津製作所) 寺田英敏

16.15～16.30 (座長：寺田英敏)

S2-11 溶媒抽出

(臨床検査基準測定機構) 岡橋美貴子

16.30～16.45 (座長：寺田英敏)

S2-12 除タンパク

(臨床検査基準測定機構) 岡橋美貴子

16.45～17.00 (座長：岡橋美貴子)

S2-13 館内施設説明&部屋割り

(東レリサーチセンター) 竹澤正明

17.00 チェックイン(個室)・入浴

17.40～18.00 景品仕分け(寺田英敏、坂本和則)

18.00～20.00 夕食・情報交流会

・司会(榎本幹司)

・じゃんけん大会(高橋 豊)

20.15～20.30 会場セットアップ(清水克敏、坂牧 寛)

20.30 ミッドナイトセッション

(4グループに分かれて討論)

①前処理&生体試料、②分離&カラム、③検出&LC/MS、

④ヒューマンネットワーク

2日目(11月29日)

7.30～8.30 朝食

第3部 分離の神髄(主任：西岡亮太)

8.30～8.45 (座長：竹澤正明)

S3-14 逆相クロマトグラフィー

(CERI) 坂牧 寛

8.45～9.00 (座長：坂牧 寛)

S3-15 HILIC

(クロマニックテクノロジーズ) 長江徳和

9.00～9.15 (座長：長江徳和)

S3-16 イオン交換クロマトグラフィー

(日立ハイテクサイエンス) 清水克敏

9.15～9.30 (座長：清水克敏)

S3-17 イオン排除クロマトグラフィー

(東ソー) 伊藤誠治

9.30～9.45 (座長：清水克敏)

S3-18 イオンクロマトグラフィー

(東ソー) 伊藤誠治

9.45～10.00 (座長：伊藤誠治)

S3-19 マルチモードクロマトグラフィー

(島津製作所) 寺田英敏

10.00～10.15 (座長：寺田英敏)

S3-20 キラルクロマトグラフィー

(LCシニアクラブ) 西岡亮太

10.15～10.30 (座長：西岡亮太)

S3-21 超臨界流体クロマトグラフィー

(島津製作所) 寺田英敏

10.30～10.45 コーヒーブレイク

第4部 検出の神髄(主任：三上博久)

10.45～11.00 (座長：寺田英敏)

S4-22 示差屈折率検出

(島津総合サービス) 三上博久

11.00～11.15 (座長：三上博久)

S4-23 吸光光度検出

(北浜製作所) 井上剛史

11.15～11.30 (座長：井上剛史)

S4-24 蛍光検出

(島津総合サービス) 三上博久

- 11.30～11.45 (座長：三上博久)
S4-25 電気伝導度検出
(産総研) 川口 研
- 11.45～12.00 (座長：川口 研)
S4-26 蒸発光散乱検出
(島津総合サービス) 三上博久
- 12.00～12.15 (座長：三上博久)
S4-27 ICP 検出
(フジクラ) 市川進矢
- 12.15～13.00 昼食・記念撮影
(撮影後、希望者は東レ・企業文化フロア見学可)
- 第5部 LC/MSの神髄 (主任：高橋 豊)
13.00～13.15 (座長：市川進矢)
S5-28 ESI
(プレッパーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊
- 13.15～13.30 (座長：高橋 豊)
S5-29 APCI
(日本食品検査) 橋田 規
- 13.30～13.45 (座長：高橋 豊)
S5-30 QMS
(日本食品検査) 橋田 規
- 13.45～14.00 (座長：橋田 規)
S5-31 TOF-MS
(日本電子) 山本敏人
- 14.00～14.15 (座長：山本敏人)
S5-32 MS/MS
(東レリサーチセンター) 竹澤正明
- 第6部 実試料分析の神髄 (主任：竹澤正明)
14.15～14.30 (座長：竹澤正明)
S6-33 生体成分分析
(臨床検査基準測定機構) 岡橋美貴子
- 14.30～14.45 (座長：岡橋美貴子)
S6-34 アミノ酸分析
(味の素) 大貫隆史
- 14.45～15.00 コーヒーブレイク
- 15.00～15.15 (座長：大貫隆史)
S6-35 PFAS 分析
(栗田工業) 榎本幹司
- 15.15～15.30 (座長：榎本幹司)
S6-36 食品分析
(ハウス食品グループ本社) 神山和夫
- 15.30～15.45 (座長：神山和夫)
S6-37 生薬分析
(太田胃散) 濱崎保則
- 15.45～16.00 (座長：濱崎保則)
S6-38 化粧品分析
(花王) 奥田愛未
- 16.00～16.15 (座長：奥田愛未)
S6-39 タンパク質分析～DNA 配列解読
(農研機構) 高橋亜紀子
- 16.15～16.30 (座長：高橋亜紀子)
S6-40 委託分析
(東レリサーチセンター) 竹澤正明
- 16.30～16.35 実行委員長・閉会挨拶
(東京理科大学) 中村 洋
- 16.50～17.20 (認証専門委員：中村 洋, 三上博久)
修了試験 4択式で10問。マークシートに解答。無料。
① 2024年度 LC 分析士初段認証試験筆記試験免除試験
② 2024年度 LC/MS 分析士初段認証試験筆記試験免除試験
- 参加費 30,000円 (税込み10%)。
参加申込方法 ①参加者氏名, ②連絡先 (メールアドレス, 所属, 住所, 電話番号, Eメール, ③オーバーナイトセッション

で討論したい (聴いてみたい) テーマ, ④上記修了試験受験希望の有無 (希望者は LC か LC/MS かの区分を記載。受験予定者は 2B 以上の黒鉛筆と消しゴムを持参) を明記し, 下記参加申込先 URL にお申し込みください。

参加申込先 <https://forms.gle/KYnWyYLDLaNXKPET6>

参加申込締切 11月15日 (金) 入金締切時刻 15時

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

服装に関する注意事項 研修期間中は軽装で結構ですが, トレーニングウェア, Gパン, 短パン, サンダル, 襟のないシャツ, ヒールの高い靴はご遠慮ください。

問合先 研修会実行委員長 中村 洋

[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

なお, 開催日が近付きましたら, LC 研究懇談会のホームページ (<http://www.lckon.html>) をご覧ください。

第18回茨城地区分析技術交流会

主催 (公社)日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術交流会

期日 2024年12月13日 (金)

会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 [茨城県水戸市千波町東久保697, 交通: JR常磐線「水戸」駅よりバス・タクシーで10分あるいは徒歩20分]

プログラム

12.00～ 受付

12.30～12.35 開会挨拶

(茨城工業高等専門学校) 澤井 光

12.35～13.25 向流クロマトグラフィーの高性能化に関する研究

(日本大学生産工学部) 四宮一総

13.30～14.20 有機溶媒の代替に高温高圧水を活用した食品分析法の開発

(茨城大学農学部) 鎗田 孝

14.25～15.45 ポスター発表 (分析研究, 技術開発の紹介など)

15.50～16.40 無機分析装置の革新と応用: ICP-OES と ICP-MS (/MS) の基礎, 応用, 最新研究トレンド

((同)PerkinElmer Japan) 古川 真

16.40～16.45 閉会挨拶

17.00～18.30 情報交換会

ポスター発表申込 電子メールにて①発表題目, ②所属, ③発表者氏名 (発表者に○), ④発表区分 (学生 or 一般), ⑤連絡先を明記のうえ, 下記連絡先までお申し込みください。申込締切は10月25日 (金) です。なお, ポスター賞 (学生および一般) を設けていますので, 奮ってご応募ください。

ポスター発表要旨 A4用紙1枚 (上下左右マージン2.5 cm) に, ①発表題目, ②所属, ③発表者氏名 (発表者に○), ④発表要旨 (形式自由) を記入し, PDFファイルにて下記連絡先まで電子メールでお送りください。提出締切は11月15日 (金) です。なお, ポスターサイズはA0 (縦) に収まるサイズで作成してください。

参加費 無料

情報交換会 講演およびポスター発表終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します。会費3,000円 (一般), 1,000円 (学生) は当日受け付けます。

参加申込 交流会参加希望者は, 所属, 氏名, 情報交換会参加の有無を明記のうえ, 11月15日 (金) までに, 電子メールにて下記連絡先へお申し込みください。

連絡先 〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866 茨城工

業高等専門学校 澤井 光
[E-mail : hsawai@ibaraki-ct.ac.jp]

第30回 LC & LC/MS テクノプラザ ～講演・展示募集と参加申込～

LC 研究懇談会第30回特別講演会・見学会

主催 (公社)日本分析化学会 LC 研究懇談会
後援 (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会 (申請中), (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会, LC シニアクラブ

期日 2024年12月16日(月)

会場 (株)島津製作所本社〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町1〕
および島津創業記念資料館

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

交通：①京都市営地下鉄東西線「西大路御池」駅4番出口より南へ徒歩3分、②阪急京都線「西院」駅より北へ徒歩10分

スケジュール

12.30～13.00 受付

司会・現地世話人：寺田英敏（島津製作所）、
三上博久（島津総合サービス）

13.00～13.05 LC 研究懇談会・委員長挨拶
(東京理科大学) 中村 洋

13.05～13.30 島津製作所 会社/Solutions COE の紹介
(島津製作所 Solutions COE) 荒川清美

13.35～14.35 見学会 (社内施設見学)

14.40～15.05 講演1 LC 最新技術の紹介
(島津製作所 LC ビジネスユニット) 松本恵子

15.05～15.30 講演2 LC/MS 最新技術の紹介
(島津製作所 MS ビジネスユニット) 渡辺 淳

15.30～16.00 島津創業記念資料館へ移動
(本社から地下鉄+徒歩)

16.00～17.00 島津創業記念資料館見学&記念撮影

17.20～19.20 情報交流会 (京都市役所前駅周辺)

19.20 解散

参加費 5,000円(税込み10%)。

定員 20名(どなたでもご参加できますが、定員になり次第、締め切らせていただきます)。

参加方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、メールアドレス、勤務先、電話番号、などを明記のうえ、お申込みください。参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「LC 研究懇談会第30回特別講演会・見学会申込受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、問合せ先までご連絡ください。
- 申込受付メールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込を無効としますので、十分ご注意ください。いったん納入された参加費は、返金いたしません。なお、請求書の発行はいたしておりません。

申込期限 2024年12月2日(月)(入金締切時刻：15時)

申込先 <https://forms.gle/aUdQVwS4moES9VoX6>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)0802349、口座名義：シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会

[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

主催 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会

共催 LC シニアクラブ

後援 (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会 (申請中), (公社)日本農芸化学会

LC および LC/MS を日常的に利用しているオペレーター、技術者の方々の情報交換、問題解決・相互交流の場として、標記テクノプラザを開催します。本プラザの特色は、従来の機器・カタログ展示や一般講演に加え、現場の共通の悩みをその都度「集中テーマ」として取り上げ、実例を材料として具体的に議論することです。問題を解決できた例、問題提起の段階でとどまっている例、これから問題になりそうな事柄などが、いずれも「集中テーマ」の対象になります。この会の主要な目的の一つは、発表していただいた個々の問題を参加者全体の共通の認識にすることにあります。したがって、未解決の問題や失敗例でも一向に構いません。役に立つ情報であれば、いわゆるオリジナリティーには必ずしもこだわりません。なお、本テクノプラザの講演者は、次年度の「液体クロマトグラフィー努力賞」の審査対象となります。

会期 2025年1月15日(水)・16日(木)

会場 大田区産業プラザ PiO〔東京都大田区南蒲田1-20-20〕
交通：①京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分、②JR 京浜東北線「蒲田」駅、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分]

<https://www.pio-ota.net/access/>

A 講演募集

A-1 発表形式 口頭発表及びポスター発表

A-2 講演募集分類 ①集中テーマ：(A) 前処理における諸問題、(B) 分離における諸問題、(C) 検出・データ解析における諸問題、(D) 未解決の諸問題、教訓的失敗例、
②一般テーマ。

A-3 講演申込先 LC 懇のホームページから、1演題ごとに下記 URL に必要事項を明記してください。

講演申込 URL

<https://forms.gle/yFQogbERvS2JkMdE8>

(この URL からの参加申込はできません)

A-4 講演申込締切 11月29日(金)

A-5 講演要旨締切 12月18日(水)

A-6 講演要旨執筆要領

- 日本語は MS 明朝、英数字は Century で入力。
- A4 判白紙を縦に使用し、横 17 cm、縦 25 cm の枠内(標準は 1 行 38 字、1 枚 38 行)にワープロで 1～2 枚作成してください。要旨集は A4 判で作製します。
- 講演番号記入(14 ポイント)欄として、1 枚目の左上隅(左 8 字×4 行分)は空白としてください。
- 講演題目(強調 14 ポイント)を書き、1 行空けて発表者の所属と氏名を書く(強調 12 ポイント)。所属はカッコ内にまとめ、氏名にはふりがなを、また発表者の氏名の前には○印をつけてください。
- 所属・氏名の下を 1 行空けて、目的、実験、結果、考察などに分けて本文(10.5 ポイント)を書いてください。
- 2 枚目は最上段から書いてください。

A-7 講演要旨提出先 Word 版と PDF 版を電子メール(nakamura@jsac.or.jp)に添付してください。

B 展示募集

B-1 機器・カタログ展示 横幅 180 cm、奥行き 60 cm、高さ 72 cm の台を使用します。1 小間につき、機器展示は 30,000 円、カタログ・書籍展示は 10,000 円。展示ご希望の方は、①希望する展示の種類、②申込小間数、③連絡先

お知らせ

(電話)を明記し、12月16日(月)までにお申し込みください。なお、展示申込は先着順に受付、満小間になり次第締切ります。

B-2 展示申込先 URL

<https://forms.gle/6NcWbYPp3Bm4YEebA>

B-3 展示者も参加登録が必要です。

C 参加申込

C-1 参加登録費 一般6,000円、学生3,000円。

C-2 情報交換会 1月15日(水)17時30分より(参加費5,000円)

C-3 参加申込先 プログラムは編成が終わり次第、LC懇ホームページに掲載しますので、下記URLより参加登録申込、情報交換会参加申込をしてください。

参加申込 URL

<https://forms.gle/XE3Yw3w2oFkSfKbG8>

C-4 参加申込締切日 1月6日(月)(入金締切時刻:15時まで)

C-5 銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)0802349、口座名義:シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

主催者提供講演

LCシニア講演

- ・私の液クロ履歴書～製品とアプリケーションの開発を振り返る

(LCシニアクラブ)熊谷浩樹

- ・これ迄の歩み、そして新たな挑戦

(LCシニアクラブ)西岡亮太

啓育講演

- ・人生におけるヒューマンネットワーク

(東京理科大学)中村 洋

現地世話人講演

- ・題目未定(東ソー)伊藤誠治

上記の講演に加え、CERIクロマトグラフィー分析賞受賞講演、LC努力賞受賞講演、LC科学遺産認定講演、POTY賞受賞講演、ベストオーガナイザー賞表彰、第29回テクノプラザベストプレゼンテーション賞表彰など、今年度の各賞受賞講演・表彰なども予定されております。

問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 第30回LC&LC/MSテクノプラザ実行委員長 中村 洋 [E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

—以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

日本放射化学会第68回討論会(2024)

主催 (一社)日本放射化学会

期日 2024年9月23日(月)~25日(水)

会場 グランシップ GRANSHIP(静岡県コンベンションアーツセンター)

ホームページ

<http://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/sorc2024>

連絡先 〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部附属放射科学教育研究推進センター 矢永誠人

[電話:06-6879-8821, E-mail:jnrs2024@adb.shizuoka.ac.jp]

日本分光学会近赤外分光部会 第18回シンポジウム

「可視・近赤外・赤外光を用いた生体計測の技術開発」

主催 (公社)日本分光学会近赤外分光部会

期日 2024年10月9日(水)

会場 中央区立産業会館3階

ホームページ <https://www.bunkou.or.jp/NIR/>

連絡先 〒180-8570 東京都武蔵野市中町2-9-32

横河電機(株) 服部祐介(部会代表)

[E-mail:Yuusuke.Hattori@yokogawa.com]

2024年度水素・燃料電池材料研究会講座

主催 (公社)高分子学会

期日 2024年10月25日(金)

会場 上智大学四谷キャンパス

ホームページ

<https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/materials.php>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9

新富町ビル6F(公社)高分子学会事業課 石原弘哲

[電話:03-5540-3770, E-mail:resg3@spsj.or.jp]

第74回プラスチックフィルム研究会講座

主催 高分子学会プラスチックフィルム研究会

期日 2024年10月31日(木)

会場 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館コラボレーションルームおよびオンライン

ホームページ

<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=627>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9

新富町ビル6F(公社)高分子学会事業課 石原弘哲

[電話:03-5540-3771, E-mail:resg3@spsj.or.jp]

日本希土類学会第42回講演会

主催 日本希土類学会
 期日 2024年11月8日(金)
 会場 崎陽軒本店会議室1・2号室
 ホームページ

<https://www.kidorui.org/lecture.html>

連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻内 日本希土類学会事務局
 田村真治
 [電話: 06-6879-7352, E-mail: office@kidorui.org]

日本膜学会「膜シンポジウム2024」
融合による創膜

主催 日本膜学会
 期日 2024年11月28日(木)・29日(金)
 会場 滋賀県立文化産業交流会館
 ホームページ

<http://www.maku-jp.org/symposium/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5-702
 日本膜学会事務局 渡部恭吉
 [電話: 03-3815-2818, E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp]

初めて書く論文は母語の日本語で！
「第23回若手研究者の初論文特集」募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2024年(第73巻)に第23回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学」年間特集“環”論文募集

「分析化学」編集委員会

2025年は「環」をテーマとすることと致しました。

分析化学において「環」は、様々なスケールでの意味を持ちます。たとえば“環境”や“循環”のような大きなスケール、あるいは、多環芳香族炭化水素(PAHs)などの“環式化合物”という小さなスケールです。いずれにおいても、分析化学は重要な役割を果たしています。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第74巻(2025年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多く

の皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切: 2024年7月21日(金) (第1期)
 特集論文原稿締切: 2024年8月18日(金) (第1期)

「分析化学」特集
“表示・起源分析技術の現在”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、表示・起源分析技術研究懇談会と共同で「表示・起源分析技術の現在」と題した特集を企画しました。表示・起源分析技術研究懇談会は、「分野・分析手法を横断し、起源と表示に関する分析化学的研究を行い、学問の振興及び社会における利用を図る」ことを目的として、2008年12月に設立されました。本特集では、「表示」と「起源」に、関係する論文を様々な分野から基礎・応用を問わず広く募集します。本特集を通じて、他分野からの情報収集も図っていただきたいと思っておりますので、奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切: 2024年9月27日(金)
 特集論文原稿締切: 2024年11月1日(金)

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P: 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。